

教育目標		『すべての子どもを幸せに』～自尊感情を高め、自立してたくましく生きる児童の育成～									
重点目標		○家庭学習の習慣を身に付けさせる。 ○学級向上プロジェクトにより、誰もが楽しいと感じる学級づくりに取り組む。 ○ICT等を活用しながら、より子どもたちにとって分かりやすく魅力のある授業づくりに取り組む。									
主要施策	施策目標 基本施策	重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題 アンケートはA・Bを合わせて良い、C・Dを合わせて良くないとして集計しています	改善策	学校関係者の評価			
知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成	「確かな学力」の育成 ①授業改善 ②誰一人取り残さない取組 ③学校・家庭・地域の連携 ④情報活用能力の育成 ⑤英語教育の充実 ⑥デジタル化の促進	・基礎的・基本的な知識技能を習得させる。	・授業のめあてを意図し、ふりかえりなどで理解を確認しながら授業を進める。	・児童アンケートにおいて「授業はわかりやすく楽しい」との回答が90%以上	・各先生方が日々工夫をして授業をされているので、回答の割合が高くなっている。	・引き続き、研修や新しい情報などをお互いに交換し合いながら、授業の工夫に努める。	・基礎基本を習得するためにも家庭学習推進を継続することが必要。 ・重点項目を達成するための具体的施策と成果と課題について同意感がない。 ・家庭での読書はなかなか取り組めていない。	・引き続き、研修や新しい情報などをお互いに交換し合いながら、授業の工夫に努める。	・基礎基本を習得するためにも家庭学習推進を継続することが必要。 ・重点項目を達成するための具体的施策と成果と課題について同意感がない。 ・家庭での読書はなかなか取り組めていない。		
			・宿題や課題を最後までやらせるように支援する。 ・家庭学習の習慣(目標時間)をつけるため、内容を各学年で精査する。 ・職員アンケート「時間に見合う課題を与えている」の回答が90%以上	・児童アンケート①「家で低学年は15～30分、中学年は45～60分、高学年は75～90分以上学習している」で70%以上。②「宿題や課題をきちんとやりきっている」で90%以上	・達成目標70%には届いていないが、前年度よりも数値が上がっているのは、自主学習ノートの取り組みの成果だと考え、次年度も引き続き取り組みを続け、定着していけるようにしていきたい。 ・教職員アンケートの数値が下がっている。「学年に見合う課題を与えている」という文言が、宿題だけの時間を感じるという意見があった。	・児童アンケート「家や学校(図書・朝学習など)で読書をしている」の回答が85%以上 ・学年により図書だより等、掲示や配布物で呼びかける。 ・保護者アンケート「子どもは家庭で読書をしている」の回答が50%以上 ・朝読書の実施(15分×3回)	・児童アンケート「読書が好き」との回答が85%以上 ・保護者アンケート「子どもは家庭で読書をしている」の回答が50%以上	・児童アンケート「家で読書をする機会が多くなった」との回答が85%以上 ・保護者アンケート「子どもは家庭で読書をしている」の回答が50%以上	・タブレットを活用した読書も含め、学年により図書だより等、掲示や配布物で呼びかける。 ・継続して図書ボランティアや図書イベントの企画を実施する。	・土曜寺子屋教室について、習い事や家の用事で休める家庭があるのも確かである。休めるためにはPRとボランティアさんご協力が必要である。 ・日頃の先生方の創意工夫ある授業により、「授業はわかりやすく楽しい」という回答の割合が高くなっていることは評価できる。 ・詳細に分析されているが、教師との相性、児童間の相性もあるのをごに言えない。	
			・家庭学習の内容に自主学習を入れる。	・児童アンケート「家で読書をする機会が多くなった」との回答が85%以上	・児童アンケート「家で読書をする機会が多くなった」との回答が85%以上	・地域、企業などの人材を活用する。 ・土曜寺子屋を実施し、学習習慣の定着を図る。	・地域、企業などの人材を活用する。 ・土曜寺子屋を実施し、学習習慣の定着を図る。	・地域、企業などの人材を活用する。 ・土曜寺子屋を実施し、学習習慣の定着を図る。	・土曜寺子屋教室の様子をHPで発信し、子ども達に魅力や楽しさを伝える取組を進めるとともに、ボランティア募集のチラシを作成し、希望者を募る。	・引き続き、研修や新しい情報などをお互いに交換し合いながら、授業の工夫に努める。	・基礎基本を習得するためにも家庭学習推進を継続することが必要。 ・重点項目を達成するための具体的施策と成果と課題について同意感がない。 ・家庭での読書はなかなか取り組めていない。
			・スクールの新機能の紹介や授業におけるアプリの紹介を行い、ICT機器の推進を進める。 ・情報モラルの授業を各学年で実施する。	・職員を対象としたタブレットを使った研修を実施する。 ・各学年に1回情報モラルの授業を実施する。	・ICTに関する研修を実施できた。 ・各学年で情報モラルに関する授業を実施できた。	・職員を対象としたタブレットを使った研修を実施する。 ・各学年に1回情報モラルの授業を実施する。	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・ICT機器の推進を進めていく。 ・情報活用能力の育成に向けた年間指導計画を作成する。	・引き続き、研修や新しい情報などをお互いに交換し合いながら、授業の工夫に努める。	・基礎基本を習得するためにも家庭学習推進を継続することが必要。 ・重点項目を達成するための具体的施策と成果と課題について同意感がない。 ・家庭での読書はなかなか取り組めていない。
			・外国語活動や英語教育を充実を目指す。	・活動を中心とした外国語活動を実施して、児童の興味・関心を高める。 ・児童アンケート「英語の授業を通して、日本との違いに気付くことができた。」の回答が90%以上	・活動を中心とした外国語活動により、子ども達の興味・関心を引き出す事が出来た。また、学期末に行ったスピーチでは、人前で英語を話すことで自信に繋がっていた。 ・児童アンケートの結果が91.1%であり、英語の授業を通して外国に興味・関心を高めることが出来た。	・活動を中心とした外国語活動により、子ども達の興味・関心を引き出す事が出来た。また、学期末に行ったスピーチでは、人前で英語を話すことで自信に繋がっていた。 ・児童アンケートの結果が91.1%であり、英語の授業を通して外国に興味・関心を高めることが出来た。	・職員アンケート「英語の授業を通して、日本との違いに気付くことができた。」の回答が90%以上	・職員アンケート「英語の授業を通して、日本との違いに気付くことができた。」の回答が90%以上	・引き続き活動中心の授業を展開し、子ども達の興味・関心を高められるようにする。 ・教員研修の時期を見直し、より魅力的なICTを活用した授業を目指していきたい。	・引き続き活動中心の授業を展開し、子ども達の興味・関心を高められるようにする。 ・教員研修の時期を見直し、より魅力的なICTを活用した授業を目指していきたい。	・引き続き活動中心の授業を展開し、子ども達の興味・関心を高められるようにする。 ・教員研修の時期を見直し、より魅力的なICTを活用した授業を目指していきたい。
			・各教科で効果的にICT、タブレットを活用する。	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員アンケート「ICT機器やタブレットを活用してわかる授業を実施し、学習に対する興味・関心を喚起する」90%以上	・職員による授業でのICT機器の活用を呼びかける。	・職員による授業でのICT機器の活用を呼びかける。	・職員による授業でのICT機器の活用を呼びかける。
			・児童を理解し、指導の徹底を図る。	・生活指導、人権、特別支援の研修会を実施する。 ・職員アンケート「児童を理解し、指導の徹底を図る」85%以上	・児童理解を深めるために、研修を実施できた。職員アンケート「児童を理解し、指導の徹底を図る」は、93%であった。	・生活指導、人権、特別支援の研修会を実施する。 ・職員アンケート「児童を理解し、指導の徹底を図る」85%以上	・生活指導、人権、特別支援の研修会を実施する。 ・職員アンケート「児童を理解し、指導の徹底を図る」85%以上	・生活指導、人権、特別支援の研修会を実施する。 ・職員アンケート「児童を理解し、指導の徹底を図る」85%以上	・引き続き、研修や児童理解を深めるために、指導の徹底を図っていく。	・引き続き、研修や児童理解を深めるために、指導の徹底を図っていく。	・引き続き、研修や児童理解を深めるために、指導の徹底を図っていく。
			・自分からあいさつができるよう、日々の生活の中で指導を進める。委員会のあいさつ運動でも啓発していく。	・児童アンケート「自分からすすんであいさつをしている」80%以上	・児童アンケート「自分からすすんであいさつをしている」80%以上	・自分からあいさつができるよう、日々の生活の中で指導を進める。委員会のあいさつ運動でも啓発していく。	・自分からあいさつができるよう、日々の生活の中で指導を進める。委員会のあいさつ運動でも啓発していく。	・自分からあいさつができるよう、日々の生活の中で指導を進める。委員会のあいさつ運動でも啓発していく。	・継続して、あいさつができるよう、日々の生活の中で指導や、委員会活動で、啓発していく。	・継続して、あいさつができるよう、日々の生活の中で指導や、委員会活動で、啓発していく。	・継続して、あいさつができるよう、日々の生活の中で指導や、委員会活動で、啓発していく。
			・道徳や日々の授業・学級指導の中で、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えさせる。	・児童アンケートにおいて「自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えている」の回答が90%以上	・児童アンケートにおいて「自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えている」の回答が90%以上	・道徳や日々の授業・学級指導の中で、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えさせる。	・道徳や日々の授業・学級指導の中で、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えさせる。	・道徳や日々の授業・学級指導の中で、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えさせる。	・継続して、日々の授業や学校生活において、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考える機会を持つよう指導していく。	・継続して、日々の授業や学校生活において、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考える機会を持つよう指導していく。	・継続して、日々の授業や学校生活において、自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考える機会を持つよう指導していく。
			・いじめアンケート調査を年3回実施する。 ・学級力アンケートを実施し、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営を進めていく。	・児童アンケートにおいて「学校へ行くのが楽しい」との回答が80%以上	・児童アンケートにおいて「学校へ行くのが楽しい」との回答が80%以上	・いじめアンケート調査を年3回実施する。 ・学級力アンケートを実施し、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営を進めていく。	・いじめアンケート調査を年3回実施する。 ・学級力アンケートを実施し、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営を進めていく。	・いじめアンケート調査を年3回実施する。 ・学級力アンケートを実施し、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営を進めていく。	・継続して、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営の取り組みを進めていく。	・継続して、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営の取り組みを進めていく。	・継続して、日々の授業を楽しく、学級が安心基地となるような学級経営の取り組みを進めていく。
・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・不登校児童の情報を全職員で共有し、別室登校の支援体制を整備していく。	・ケース会議を開く場合は、結果の報告だけではなく、事前に職員に知らせる。具体的には、児童名をインシヤルにして、掲示板を活用する。	・ケース会議を開く場合は、結果の報告だけではなく、事前に職員に知らせる。具体的には、児童名をインシヤルにして、掲示板を活用する。	・ケース会議を開く場合は、結果の報告だけではなく、事前に職員に知らせる。具体的には、児童名をインシヤルにして、掲示板を活用する。			
・家庭で、ゲームやスマホ等の使用のルール作りをする。	・年度初めや、長期休み前にはゲームやスマホ等のSNSの使い方のルールを家庭に啓発する。 ・情報モラル教育を、学年に1回各学年で設定する。	・年度初めや、長期休み前にはゲームやスマホ等のSNSの使い方のルールを家庭に啓発する。 ・情報モラル教育を、学年に1回各学年で設定する。	・家庭で、ゲームやスマホ等の使用のルール作りをする。	・家庭で、ゲームやスマホ等の使用のルール作りをする。	・家庭で、ゲームやスマホ等の使用のルール作りをする。	・今後も児童・保護者へ啓発を続けていく。	・今後も児童・保護者へ啓発を続けていく。	・今後も児童・保護者へ啓発を続けていく。			
・運動プログラムについて、周知徹底を行い、内容を生活しやすくとする児童を育成する。	・職員アンケートにおいて「学年に応じた運動プログラムを実施している」の回答が85%以上になる。 ・学校全体で長編に取り組み、体力の向上を目指す。 ・委員会活動を中心とした、業間活動を年1回以上行う。	・今年度の職員アンケートで「学年に応じた運動プログラムを実施している」との回答が約93%であった。昨年度に比べて、周知徹底することができた。スポーツテストの結果も昨年度に比べて上がっていることもあり引き続き来年度も取り組んでいく。 ・屋内・屋外委員会を中心に、業間休みの運動遊びを計画・実施することができた。内容については、今年度の反省を踏まえ、改善していく。 ・健康な生活習慣について、保健だよりや通達や児童保健委員会活動を通して知らせる。 ・食育を給食の時間や授業において推進する。一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・朝ご飯の大切さについて、学級指導を進めていく。 ・低学年への給食指導を実施する。 ・給食委員会で考えた目標に沿って、活動する。(給食前の献立放送、掲示物の工夫)	・健康な生活習慣について、保健だよりや通達や児童保健委員会活動を通して知らせる。 ・食育を給食の時間や授業において推進する。一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・朝ご飯の大切さについて、学級指導を進めていく。 ・低学年への給食指導を実施する。 ・給食委員会で考えた目標に沿って、活動する。(給食前の献立放送、掲示物の工夫)	・健康な生活習慣について、保健だよりや通達や児童保健委員会活動を通して知らせる。 ・食育を給食の時間や授業において推進する。一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・朝ご飯の大切さについて、学級指導を進めていく。 ・低学年への給食指導を実施する。 ・給食委員会で考えた目標に沿って、活動する。(給食前の献立放送、掲示物の工夫)	・健康な生活習慣について、保健だよりや通達や児童保健委員会活動を通して知らせる。 ・食育を給食の時間や授業において推進する。一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・朝ご飯の大切さについて、学級指導を進めていく。 ・低学年への給食指導を実施する。 ・給食委員会で考えた目標に沿って、活動する。(給食前の献立放送、掲示物の工夫)	・引き続き運動プログラムなど体力向上に取り組む。学校全体を通して委員会や体力向上につながる企画を考える。また、学級でもなるべく外遊びをうながす声掛けを行っていく。	・引き続き運動プログラムなど体力向上に取り組む。学校全体を通して委員会や体力向上につながる企画を考える。また、学級でもなるべく外遊びをうながす声掛けを行っていく。	・引き続き運動プログラムなど体力向上に取り組む。学校全体を通して委員会や体力向上につながる企画を考える。また、学級でもなるべく外遊びをうながす声掛けを行っていく。			
・児童の体力の向上を図る。	・児童アンケート「毎日、朝ごはんを食べている」の回答が95%以上になる。 ・保護者アンケート「食習慣を身に付けている」95% ・栄養教諭による給食指導を行う。	・児童アンケート「毎日、朝ごはんを食べている」の回答が95%以上になる。 ・保護者アンケート「食習慣を身に付けている」95% ・栄養教諭による給食指導を行う。	・児童の体力の向上を図る。	・児童の体力の向上を図る。	・児童の体力の向上を図る。	・一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・伊丹市産の野菜を使ったメニューが得意で、行事食の日など、放送委員会に献立を紹介してもらい、関心を高めている。 ・企業や関係機関と協力して、出前授業など食に関する指導を行うことができた。	・一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・伊丹市産の野菜を使ったメニューが得意で、行事食の日など、放送委員会に献立を紹介してもらい、関心を高めている。 ・企業や関係機関と協力して、出前授業など食に関する指導を行うことができた。	・一ロメを掲示、活用することにより、児童が食に関する様々な情報に触れる機会を増やし、関心を高める。 ・伊丹市産の野菜を使ったメニューが得意で、行事食の日など、放送委員会に献立を紹介してもらい、関心を高めている。 ・企業や関係機関と協力して、出前授業など食に関する指導を行うことができた。			
・キャリアパスポートを実施する。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組む。 ・各教科や日常生活で、児童に自分自身についての理解を深めさせる。	・年に2回キャリアパスポートの記入を実施する。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組む。 ・職員アンケート「各学年、年に1回以上出前授業に取り組んでいる」80%以上	・年に2回キャリアパスポートの記入を実施できた。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組むことができた。(職員アンケートで「各学年、年に1回以上出前授業に取り組んでいる」の回答率96%) ・各学年で自主ノートに取り組む、児童が自己理解を深める手立てとすることができた。	・キャリアパスポートを実施する。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組む。 ・各教科や日常生活で、児童に自分自身についての理解を深めさせる。	・キャリアパスポートを実施する。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組む。 ・各教科や日常生活で、児童に自分自身についての理解を深めさせる。	・キャリアパスポートを実施する。 ・各学年、年に1回以上出前授業に取り組む。 ・各教科や日常生活で、児童に自分自身についての理解を深めさせる。	・来年度もキャリアパスポートや出前授業を合わせて、各教科や日常生活において保護者と連携しながらキャリア発達の実態を把握し、児童が自己理解を深める手立てとする。	・来年度もキャリアパスポートや出前授業を合わせて、各教科や日常生活において保護者と連携しながらキャリア発達の実態を把握し、児童が自己理解を深める手立てとする。	・来年度もキャリアパスポートや出前授業を合わせて、各教科や日常生活において保護者と連携しながらキャリア発達の実態を把握し、児童が自己理解を深める手立てとする。			
・SC・SSWを活用して支援体制を整える。 ・関係機関と密に連絡を取り相談する。	・支援を必要とする児童の把握と関係機関への支援体制を整える。 ・ケース会議や校内委員会を必要に応じて実施。	・支援を必要とする児童の把握と関係機関への支援体制を整える。 ・ケース会議や校内委員会を必要に応じて実施。	・SC・SSWを活用して支援体制を整える。 ・関係機関と密に連絡を取り相談する。	・SC・SSWを活用して支援体制を整える。 ・関係機関と密に連絡を取り相談する。	・SC・SSWを活用して支援体制を整える。 ・関係機関と密に連絡を取り相談する。	・引き続き、丁寧に対応していく。	・引き続き、丁寧に対応していく。	・引き続き、丁寧に対応していく。			
・個別の支援計画の作成やコンサル等による助言を頂きながら、合理的配慮の実践に取り組む。	・職員アンケート「授業等において、支援が必要な児童に配慮した支援が実践できている」80%以上	・職員アンケート「授業等において、支援が必要な児童に配慮した支援が実践できている」80%以上	・個別の支援計画の作成やコンサル等による助言を頂きながら、合理的配慮の実践に取り組む。	・個別の支援計画の作成やコンサル等による助言を頂きながら、合理的配慮の実践に取り組む。	・個別の支援計画の作成やコンサル等による助言を頂きながら、合理的配慮の実践に取り組む。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。			
・必要に応じてケース会議をもち適切な対応や支援をする。	・校内研修を年に2回以上行う。	・校内研修を年に2回以上行う。	・必要に応じてケース会議をもち適切な対応や支援をする。	・必要に応じてケース会議をもち適切な対応や支援をする。	・必要に応じてケース会議をもち適切な対応や支援をする。	・引き続き、丁寧に対応していく。	・引き続き、丁寧に対応していく。	・引き続き、丁寧に対応していく。			
・校内研修として、授業研究を行う。 ・他校の先生との授業を見に行き機会を増やすなど、授業力向上に取り組む。	・学年ごとに年間1本授業を公開する。 ・児童アンケートにおいて「先生は、教え方についていろいろ工夫している」との回答が90%以上	・今年度研究発表会もあり、研究テーマの達成に向けて全員が指導方法の工夫を意図しながら取り組むことができた。児童アンケートにおいて、約95%の児童が「先生は、教え方についていろいろ工夫している」との回答があった。課題としては、残り5%の児童に対する対応を考えていかなければいけない。	・校内研修として、授業研究を行う。 ・他校の先生との授業を見に行き機会を増やすなど、授業力向上に取り組む。	・校内研修として、授業研究を行う。 ・他校の先生との授業を見に行き機会を増やすなど、授業力向上に取り組む。	・校内研修として、授業研究を行う。 ・他校の先生との授業を見に行き機会を増やすなど、授業力向上に取り組む。	・児童アンケート「先生は、教え方についていろいろ工夫している」との回答が90%以上	・児童アンケート「先生は、教え方についていろいろ工夫している」との回答が90%以上	・児童アンケート「先生は、教え方についていろいろ工夫している」との回答が90%以上			
・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・職員アンケート「他校の研究会に一人一回以上参加する」100%	・校内研修を年に2回以上行う。 ・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・校内研修を年に2回以上行う。 ・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・校内研修を年に2回以上行う。 ・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。	・校内研修を年に2回以上行う。 ・他校の研究会に一人一回以上参加できる体制を整える。			
・学校だよりを発行し、地域にも配布する。 ・ホームページにより学校の情報を積極的に発信する。	・学校だよりを月1回以上発行、HPを可能な限り日々更新する。 ・保護者アンケート「学校は、学校・学年だよりやホームページなどを通して学校情報を発信している」の回答90%以上	・学校だよりを月1回以上発行、HPを可能な限り日々更新する。 ・保護者アンケート「学校は、学校・学年だよりやホームページなどを通して学校情報を発信している」の回答90%以上	・学校を支える組織体制の整備 ①コミュニティ・スクールの充実 ②地域と学校の連携・協働体制の構築	・積極的に学校情報を発信する。 ・学校運営協議会と連携し、教育活動を進める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・積極的に学校情報を発信する。 ・学校運営協議会委員と職員との交流の場を設け、課題解決に務める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。			
・積極的に学校情報を発信する。	・学校運営協議会と連携し、教育活動を進める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・積極的に学校情報を発信する。 ・学校運営協議会と連携し、教育活動を進める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・学校を支える組織体制の整備 ①コミュニティ・スクールの充実 ②地域と学校の連携・協働体制の構築	・積極的に学校情報を発信する。 ・学校運営協議会と連携し、教育活動を進める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・積極的に学校情報を発信する。 ・学校運営協議会と連携し、教育活動を進める。 ・地域と合同でハトロールを実施。 ・夏の地域一斉ハトロールへの参加 ・参観日、懇話、オープンスクールの実施。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。	・職員が実践しやすいUDのアイデアを発信していく。一人も取りこぼさない環境づくりに取り組んでいく。			
・火災、水害、地震の避難訓練と不審者対応の訓練を行う。	・学級指導、全校訓練を実施する	・学級指導、全校訓練を実施する	・火災、水害、地震の避難訓練と不審者対応の訓練を行う。	・火災、水害、地震の避難訓練と不審者対応の訓練を行う。	・火災、水害、地震の避難訓練と不審者対応の訓練を行う。	・継続して防災教育に力を入れ、計画的に訓練を実施していく。 ・教室からの引き渡し訓練を行う。 ・夏期研修で不審者対応訓練に取り組む。	・継続して防災教育に力を入れ、計画的に訓練を実施していく。 ・教室からの引き渡し訓練を行う。 ・夏期研修で不審者対応訓練に取り組む。	・継続して防災教育に力を入れ、計画的に訓練を実施していく。 ・教室からの引き渡し訓練を行う。 ・夏期研修で不審者対応訓練に取り組む。			
・安全点検を行い、校内の危険場所の把握と整備を行う。	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上			
・警備、自転車教室、CAP等学年の系統性を持って安全指導をする。	・1年、3年、4年生で実施する。	・1年、3年、4年生で実施する。	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・安全・安心な教育環境の充実 ①学校園防訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上	・保護者アンケート「学校は、学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている」の結果が90%以上			
・業務改善を進める。	・定期的な集約し、解決策を提示していく。	・定期的な集約し、解決策を提示していく。	・業務改善を進める。	・業務改善を進める。	・業務改善を進める。	・毎月職員会議の後に、学年毎に改善して欲しいことを集約する。	・毎月職員会議の後に、学年毎に改善して欲しいことを集約する。	・毎月職員会議の後に、学年毎に改善して欲しいことを集約する。			

学校関係者評価総括
どの項目もAかBで目標を達成できたことはよかったと思う。「確かな学力の向上」については、学校だけではなく、家庭や地域の力が重要だと思うので、より連携をとり、子ども達の学力向上に向けて力になりたいと思う。
・各取組において、概ね高い評価を得ており、引き続き教育活動を展開していただきたい。

次年度に向けた重点的な改善点
・自主学習ノート等を活用した家庭での学習習慣定着。
・学級力向上プロジェクト等を活用し誰もが楽しいと感じる学級、学校づくりの推進
・学校教育目標に基づいた、新たな校内研究体制の推進
・スマホ・ゲームの時間制限とルールづくり